

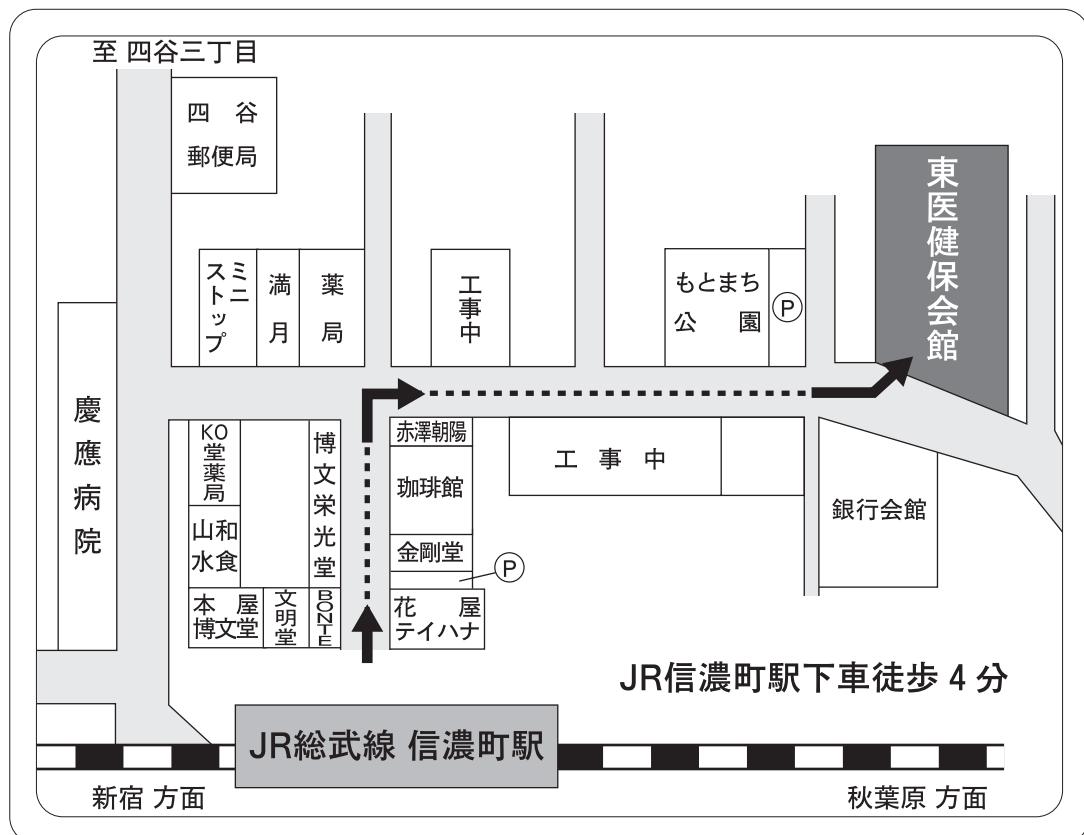
第586回

日本小児科学会東京都地方会講話会

プログラム

日 時 平成23年10月8日(土) 午後2時00分

場 所 東 医 健 保 会 館
新宿区南元町4番地 3353-4311



演題の申し込みについて

- 講話会の当日、文書で提出、もしくはe-mailで事務局宛送ってください。
- 抄録(160字以内)をおつけください。
- 原則として指定発言をつけてください。
- 演者、指定発言者は、当日二次抄録(200字以内)を提出してください。(日本小児科学会誌掲載の為)

世話人

プログラム係 佐藤 真理
東邦大学大森病院小児科 直通 03(5763)6636
直通(FAX) 03(3298)8217

会場係 池田 一成
慶應義塾大学小児科 03(3353)1211 内線62365
直通(FAX) 03(5379)1978

事務局 03(5388)7007
e-mail: jpstokyo-office@umin.ac.jp

第 586 回 日本小児科学会東京都地方会講話会演題

(1題6分、指定発言5分、追加討論3分以内、厳守のこと。○印演者)

第1グループ 14:00—14:40

座長 中山 智孝（東邦大学医療センター大森病院小児科）

1) *Staphylococcus lugdunensis*が分離された自己弁感染性心内膜炎の13歳男子例

○山崎 武士、星野 順宏、日比野 聰、藤井 隆成、阿部 祥英、岩崎 順弥、水野 克己、
板橋家頭夫
(昭和大学小児科)

基礎疾患に僧帽弁閉鎖不全症を有した13歳男子。主訴は発熱、血液培養陽性 (*Staphylococcus lugdunensis*)、僧帽弁輪に疣腫を認め、感染性心内膜炎と診断した。可動性のある疣腫で抗菌薬投与後も増大したため、弁形成術を行ったが、手術待機中に左下肢動脈塞栓症を認めた。臨床上注意すべき原因菌であり、報告する。

2) 虚血所見が明らかでなかった左冠動脈肺動脈起始 (BWG症候群) の1例

○山田 恵、前田 潤、宮田 功一、柴田 映道、古道 一樹、福島 裕之、山岸 敬幸、
高橋 孝雄
(慶應義塾大学小児科)
石原 淳（横浜市立市民病院小児科）

心室中隔欠損として新生児期より経過観察されていた無症状の男児。5歳時の心エコー検査で偶然右冠動脈拡張を指摘され、造影検査でBWG症候群と修正診断された。左冠動脈移植術が行われ、以後経過良好。左冠動脈領域が右冠動脈からの側副血行により還流されていたため、心筋虚血の症状・検査所見が出現せず、診断が遅れたと考えられた。

指定発言 山下 行雄（横浜市立市民病院小児科）

3) 副甲状腺機能低下症によるQT延長を認めた12歳男児例

○山口 洋平、倉信 大、佐々木章人、鹿島田健一、西山光則、土井庄三郎、水谷 修紀
(東京医科歯科大学小児科)

2011年2月頃から、疲労時に顔面と四肢の強直が出現した。中学1年生の学校心臓検診でQT延長を指摘され当科紹介入院となり、血液検査で著明な低Ca血症と高P血症を認めた。副甲状腺機能低下症を疑い、PTHの低値により確定診断に至った。治療も含めて臨床経過を報告し、低Ca血症等による二次性QT延長について文献的考察を加える。

指定発言 泉田 直己（曙町クリニック）

第2グループ 14:40—15:15

座長 谷ヶ崎 博（日本大学板橋病院小児科）

4) パルボウイルスB19感染が原因と考えられた急性肝炎の1例

○本田 真梨、都築 慎也、森 伸生、山田 律子、佐藤 典子、松下 竹次
(国立国際医療研究センター病院小児科)
宮田 一平、宮入 烈（国立成育医療研究センター生体防御系内科部感染症科）

生後6カ月女児。体重增加不良の精査目的で入院中にAST、ALT高値（最高値：AST978U/l、ALT953U/l）を認めた。感染兆候なく、また黄疸・肝腫大や凝固能異常は認めなかった。原因検索でパルボウイルスB19 IgM抗体陽性、またPCR法でパルボウイルスB19 DNA陽性と判明し、同ウイルスによる肝炎と診断した。

指定発言 垣内 俊彦（国立成育医療研究センター臓器移植センター・移植外科）

5) ITPとして治療されていたMYH9異常症の1例

○谷川俊太郎, 谷ヶ崎 博, 西川 英里, 加藤麻衣子, 七野 浩之, 陳 基明, 麦島 秀雄
(日本大学板橋病院小児科)

1歳時血小板減少認め、骨髄検査でITPの所見を認めた。7年間慢性ITPの診断で無治療経過観察中、血小板数上昇を認めなかった。末梢血塗抹標本で巨大血小板と好中球封入体を認め、免疫染色でミオシンの集積／凝集を認めた。MYH9遺伝子解析によりミスセンス変異認め診断が確定した。

6) 不安定ヘモグロビン(Hb)症に合併した一過性骨髓無形成発作の1例

○岩井 良文, 町田奈都子, 黒澤 照喜, 寺川 敏郎
(東京都立小児総合医療センター総合診療科)
金子 隆(同 血液腫瘍科)

不安定Hb症の8歳の男児。頭痛、食欲低下のため貧血の増強を指摘され当院紹介受診となった。Hb 6.6 g/dlと貧血を認め、網状赤血球43%と患者の正常時と比較すると低値であった。ヒトパルボウイルスB19IgM陽性であり一過性骨髓無形成発作と診断した。急性に増悪する貧血では一過性骨髓無形成発作を鑑別に考慮すべきである。

休憩 15:15—15:25

教育講演 15:25—16:05

座長 込山 修(国立病院機構東京医療センター小児科)

「頭痛」を診ることのできる小児科医になろう！(小児・思春期の頭痛診療の実際)

荒木 清(東京都済生会中央病院小児科)

片頭痛、緊張型頭痛に代表される一次性頭痛は、最も多い慢性疾患のひとつである。しかし「頭痛」を的確に診断、指導、治療、経過観察できる小児科医は数少ない。今回は小児・思春期の片頭痛、緊張型頭痛を中心に、その診断、治療の実際、予防的薬物療法、トリプタン製剤についても言及する。小児科医による小児・思春期頭痛診療の現状と、体系化に向けた今後の課題に関しても、皆様とともに考えたい。

第3グループ 16:05—16:30

座長 横内裕佳子(東京臨海病院小児科)

7) 即時型症状を主訴に当科救急外来を受診した食物アレルギー児の検討

○西村 光司, 石川 央朗, 鬼田 智子, 斎藤 勝也, 中村 綾子, 長谷川真紀, 中村 隆広, 吉野 弥生, 橋本 光司, 渕上達夫, 稲毛康司(日本大学練馬光が丘病院小児総合診療科)

今回、われわれはイクラ摂取後にアナフィラキシーを呈し、入院に至った症例を経験した。近年、即時型食物アレルギーの原因食物として、魚卵が増加していることはいわれている。過去3年間で即時型症状を主訴に当科救急外来を受診した食物アレルギー児の臨床的検討を行い、その実態を把握したので報告する。

8) 微量抗原を維持的に継続摂取した重症食物アレルギー児2症例

○津村 由紀, 川口 隆弘, 世間瀬基樹, 中里 純子, 森田久美子, 正田 哲雄, 山本貴和子,
成田 雅美, 堀向 健太, 二村 昌樹, 大矢 幸弘

(国立成育医療研究センター生体防御系内科部アレルギー科)

牛乳3ml負荷でアナフィラキシーを呈した7歳男児と、全卵4g負荷でアナフィラキシーを呈した5歳女児。家族の希望により、完全除去とはせず、症状を誘発しない微量の抗原を同量で継続的に経口摂取とした。いずれも、経過中に明らかなアレルギー症状を認めず、1年後の負荷試験では症状誘発閾値の上昇を確認した。

指定発言 大矢 幸弘(国立成育医療研究センター生体防御系内科部アレルギー科)

第4グループ 16:30—17:00

座長 小林 由典(国立成育医療研究センター総合診療部)

9) 肺炎を機に発見された先天性囊胞性腺腫様奇形(CCAM)の1例

○川上 亜希, 磯島 豪, 三浦健一郎, 竹内 正人, 北中 幸子, 五十嵐 隆

(東京大学小児科)

寺脇 幹, 古村 真, 岩中 督(同小児外科)

宇於崎 宏(同病理科)

川越 信(同愛記念病院小児科)

症例は特記すべき既往歴のない4歳女児。半年前から咳嗽あり。発熱、咳嗽悪化のため前医受診し、肺膿瘍疑いで当院へ紹介入院。画像所見では右下葉にair fluid levelをともなう多房性囊胞を認めた。抗生素治療後も囊胞が残存しており先天性囊胞性肺疾患が疑われた。待期的に外科的切除術が行われ、病理診断でCCAMと確定診断した。

10) 保存的治療にて症状の改善を得た小児頸椎椎間板石灰化症の1例

○小野山陽祐, 一宮 優子, 明城 和子, 前川 貴伸, 石黒 精, 阪井 裕一

(国立成育医療研究センター総合診療部)

福岡 昌利(同整形外科)

7歳女児。10日前から増強する頸部痛を主訴に近医受診。頸部レントゲン検査でC2-3椎間板の石灰化を認め当院紹介となった。レントゲンおよびMRI所見から小児頸椎椎間板石灰化症と診断し、頸椎カラー固定とイブプロフェン内服のみで症状の改善を得た。小児で稀にみられる本症を、文献的考察を加えて報告する。

11) 難治性の乳び胸水に対してピシバニール胸腔内投与が著効した1例

○林 至恩, 仙頭 淳子, 宮島真希子, 清水 美佳, 田辺 行敏, 岡野恵里香, 小林 正久,
井田 博幸 (東京慈恵会医科大学小児科)

症例は在胎35週1日、体重3,327g、アプガースコア1分値2点、5分値2点で出生し、胎児水腫、先天性乳び胸水、肥大型心筋症と診断された男児。両側胸水に対し持続胸腔ドレナージ、中心静脈栄養、MCTミルク、オクレオチドなどの保存療法を行ったが抵抗性であり、ピシバニール胸腔内投与を行い改善を認めた1例を経験したので報告する。

【運営委員会だより】

1. 9月の地方会講話会出席者は320名、新入会者12名、ベビーシッター申込6名、シッター2名でした。
2. 次期プログラム委員を順天堂大学小児科 斎藤正博先生に担当していただることになりました。
3. 平成23年10月から平成24年3月までの教育講演の演者・座長が確認されました。
4. 今年度の子どもの健康週間の担当校、会場が決定しました。
5. 日本小児科学会と東京都地方会の名誉会員推薦について報告されました。

【演題の申し込みについてのお願い】

- 動画が含まれる場合には、その旨を明示して下さい。動画使用の場合には、具体的な注意事項を、折り返し事務局よりご連絡いたします。
- 原則として指定発言をつけて下さい。
- 演題の締切は次のようになります。

講話会開催月	演題締切	講話会開催月	演題締切	講話会開催月	演題締切
1月	前年11月30日	2月	前年12月25日	3月	1月31日
5月	2月28日	6月	4月30日	7月	5月31日
9月	6月30日	10月	8月31日	12月	9月30日

申込演題が12題以上になった場合、さらに1回先になることがありますのでご了承ください。

その場合、事務局よりご連絡します。

【演者の先生方へのお願い】

一次抄録は160字以内に。また、二次抄録は日本小児科学会雑誌に掲載されますので規定の200字以内を厳守くださるようお願いいたします。(原稿は活字もしくはワープロ文字で)

出席した会員に発表の意味をより強く、明確に伝えるために、最後(または適切な時期)にTake Home Message(この発表から学ぶこと)を手短な一文で記したスライドを付け加えて頂くようお願いいたします。

【会員登録事項の変更届についてのお願い】

- 自宅、勤務先の住所(プログラム送付先)等の変更または、改姓があった場合は、速やかに東京都地方会事務局までご連絡下さい。
- 退会される場合も必ずご連絡ください。そのお届けがない場合は次年度も継続として年会費の請求を致します。

東京都地方会事務局 TEL: 03 (5388) 7007 / FAX: 03 (5388) 5193

Presentationについて

発表は Computer Presentation (Windows) のみで受け付けます。Powerpoint 2000 以上で作成、Font 文字は Powerpoint 備え付けのみ。CD-R もしくは USB メモリーにて、第 1, 2 グループ発表者は午後 1 時 30 分までに、第 3 グループ以降の発表者は午後 3 時までにスライド受付まで持参して下さい。機器操作は、当方で行います。あらかじめウイルス check をお願いいたします。

動画について

動画の発表にはトラブルが多いため、下記の方針をご理解いただきますようお願い致します。

- ① 一般演題での動画の使用はできる限りお控えいただくようお願い致します。
- ② 動画の使用が不可避と考えられる場合、ファイルのセーブ法などの注意事項がありますので、学会事務局に必ず事前にご連絡ください。
- ③ ②の場合にも、動画の映写にトラブルがあったときに備え、静止画像のみで構成された代替パワーポイントファイルをご用意下さい。当日、動画の映写が不可能と判断される場合には、代替パワーポイントファイルを用いて、時間通りに学会を進行させていただきますことをご了承下さい。

〈ベビーシッタールーム開設のお知らせ〉

乳幼児を同伴される方のために、ベビーシッタールームを開設します。利用ご希望の方は、利用日の 1 週間前までに事務局へお申し込み下さい。申し込みの際、お預けになるお子様の氏名・年齢・性別・及び預けられる時間帯を伺います。利用当日、お子様が好きな食べもの・飲料・おもちゃ・着替え・おむつなどに名前を付けてご持参下さい。また申し込み受付後、問診票に記載していただきますことをご了承下さい。キャンセルされる場合は、3 日前までにご連絡をお願いします。なお費用は学会が負担いたします。

日本小児科学会東京都地方会事務局 TEL 03-5388-7007/FAX 03-5388-5193

WAKODO

乳幼児用イオン飲料
アクアライト ORS

乳幼児の電解質・水分補給を新提案！

水分・電解質の吸収率を高めるため、浸透圧を200mOsm/Lと低くしています。

酸味を抑え、乳幼児が飲みやすいりんご風味です。

人工甘味料・保存料等は一切使用しておりません。



125mL×3個パック



乳幼児にとって理想的なバランスで電解質を補うことができます。
125mLの飲み切りサイズです。

和光堂株式会社 お客様相談室フリーダイヤル

●インターネットで和光堂情報を提供しています。http://www.wakodo.co.jp

06.1